

I. 次の楽曲はベートーヴェン作曲、弦楽四重奏曲op. 59-1の一部分である。下記の問いに答えなさい。

L.V. Beethoven

1. ①～⑩の音程名を答えなさい。また、①～⑤は転回音程名も答えなさい。

(音程名)

①	⑥
②	⑦
③	⑧
④	⑨
⑤	⑩

(転回音程名)

①
②
③
④
⑤

2. 次の(a)～(f)で示される音階になるよう、必要な箇所に変化記号を書きなさい。

(a) ⑦を主音とする旋律短音階上行形

(b) ⑦を第III音とする和声短音階

(c) ⑦を下属音とする長音階

(d) ⑦を第VI音とする旋律短音階上行形

(e) ⑦を導音とする長音階

(f) ⑦の異名同音を属音とする和声短音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい

1. (1)～(7)の和音について種類、転回形、所属調を右からそれぞれ選び、その記号、あるいは番号を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。

和音	種類	転回形	所	属	調	種類	所属調
(1)						ア. 長三和音	1. ハ長調 12. イ短調
(2)						イ. 短三和音	2. ト長調 13. ホ短調
(3)						ウ. 減三和音	3. ニ長調 14. ロ短調
(4)						エ. 増三和音	4. イ長調 15. 嬰へ短調
(5)						オ. 属七の和音	5. ホ長調 16. ニ短調
(6)						カ. 減七の和音	6. へ長調 17. ト短調
(7)						転回形	7. 変ロ長調 18. ハ短調
						A. 基本形	8. 変ホ長調 19. へ短調
						B. 第1転回形	9. 変イ長調 20. 変ロ短調
						C. 第2転回形	10. 変ニ長調 21. 変ホ短調
						D. 第3転回形	11. 変ト長調 22. 変イ短調

2. 次の文中の[]に調名を、《 》には関係調の名称を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。

- a. (2)をⅦ度の和音とする長調の下属調の同主調は[]である。
- b. (3)と(4)を同時に含む調の平行調の《 》は嬰へ短調である。
- c. (5)の所属調の平行調は[]と[]である。
- d. (6)の所属調の《 》の異名同音調は変ト長調である。
- e. (7)を主音とする調の《 》の同主調はハ長調である。

III. ①～⑤の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書き入れなさい。

① <i>adagio</i>	
② <i>capriccioso</i>	
③ <i>ritenuto</i>	
④ <i>sempre</i>	
⑤ <i>sotto voce</i>	

楽 語

1. 常に 6. 気まぐれに
2. 同様に 7. ゆるやかに
3. 小声で 8. 正確な速さで
4. 重々しく 9. だんだん遅く
5. 軽やかに 10. ただちに遅く